

熊本県で、先生になろう
どんな先生にも、
一年生だった
時代があります。

あかるく たのしく

令和3年度熊本県公立学校

教員募集



一生の仕事とする 価値がある



上天草市立阿村小学校 教諭 井上 直也
〈平成29年度採用〉



私は、生まれ育った天草で教員として勤務し、初任3年目を迎えています。阿村小学校は地域の方との関わりが深い学校です。先日、地域の方から「この子らは、阿村の宝であり、日本の宝だ。」というお話がありました。未来を築く子供たちを育てる喜びを強く感じるとともに、誇りに思いました。教師という仕事は、人が相手なので、すぐに成果が出るわけではありません。しかし、子供たちと共に頑張ることで得られる喜びは、何ものにも代え難いものです。教師という職業は、一生の仕事とする価値があると思います。これからも、子供たちと共に活動し、感動を共有し、心から向き合い続ける熱い気持ちを持ち続けていきたいです。

大切な時期を 一緒に過ごせる喜び



八代市立第三中学校
教諭 杉本 彩佳
〈平成30年度採用〉

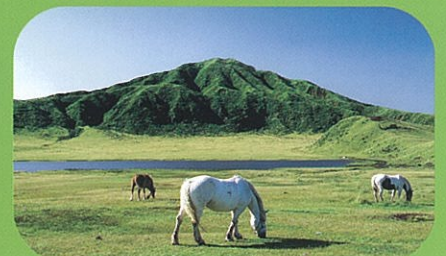
毎日たくさんの子供たちと接しながら、忙しい中にも充実した日々を送っています。授業で、専門教科を教えるだけでなく、学校生活の中で子供たちが一人の人間として立派に成長できるよう手助けをし、一番近くでその変容を見守ることができます。このことは、教員という仕事の魅力でもあり、やりがいでもあると思います。決して上手くいくことばかりではありませんが、子供たちから学ぶことも多く、周りの先生方にも助けていただきながら、自分も成長させてもらっています。子供たちの人生において大切な時期を一緒に過ごすことができることに感謝しながら、これからも自分のできることを精一杯頑張っていきたいと思っています。



熊本県の
いい
ところ。

暮らしやすい
若者に優しい生活環境。
だから公私ともに毎日が充実!

自然が美しい
海あり、山あり。
熊本の自然は感動必至の美しさ!



子供たちの心と体の成長に貢献

益城町立益城中央小学校
養護教諭 川瀬 さゆり
〈平成29年度採用〉

3年前、平成28年熊本地震で大きな被害を受けた益城町立益城中央小学校に赴任しました。地震の爪痕に衝撃を受けたことを今でも忘れません。赴任当初、私に何が出来るのだろうと悩みましたが、先輩養護教諭と協働して子供たちの心のケアや健康教育に無我夢中で取り組んだ結果、笑顔を取りもどしていく姿に勇気づけられ、この仕事にやりがいを感じる事ができました。この3年間、笑顔で元気な子供たち、同僚の先生方に支えられながら、児童の心身の健康課

題を捉えて、スクールカウンセラー等と連携し、取り組んできました。子供たちの健やかな心と体の成長に貢献できたことは、大きな喜びです。これからも子供たちとともに学び続けたいと思います。



ものづくりは人づくり

熊本県立八代工業高等学校
教諭 藤田 みゆ美 〈平成30年度採用〉

八代工業高等学校に赴任して2年が経ちました。現在、私は教壇に立ち、「電気」という目には見えないけれども、私たちの暮らしに不可欠なものについて授業を行っています。担任学級の生徒との毎日は、とても慌ただしくもありがたいながら非常に充実しており、感謝の気持ちでいっぱいです。工業高校の生徒の多くが、卒業後すぐに就職していきます。「ものづくりは人づくり」と言われるように、常により良いものを求めて、自ら努力・工夫を重ねていける生徒を育てられるよう、自分自身も研鑽を怠ってはならないと日々感じています。この素晴らしい仕事に誇りと情熱を持ち、今後も生徒とともに成長できる教師であり続けたいです。



子供たちの想いに心から共感



熊本県立天草支援学校
教諭 白井 悠暉
〈平成30年度採用〉

子供たちが日々生活に『幸せ』を感じ、将来の『幸せ』に向かって頑張ることができるように、子供たちの想いに心から共感することを心がけながら日々の指導にあたっています。将来は担当した子供たちと『幸せ』について語り合える教師を目指します。

教師になるという夢を叶え、天草支援学校に赴任して2年が経ちました。教師になる前に期待していた何十倍ものやりがいを感じており、充実した日々が毎日続いています。まだまだ未熟で、上手いはずが悩むこともあります。周りの先生方の支えや子供たちの笑顔のおかげでポジティブに頑張ることができています。



資源が豊か

資源豊かな熊本。
清らかな水にも恵まれ、住み心地も抜群!!



食べ物が美味しい

野菜、魚、肉…熊本は美味の宝庫。
新鮮食材を毎日手軽に!



地域が温かい

心温かい地域の方々との
つながりが日々の励みに



令和3年度教員採用選考考査の主な変更点

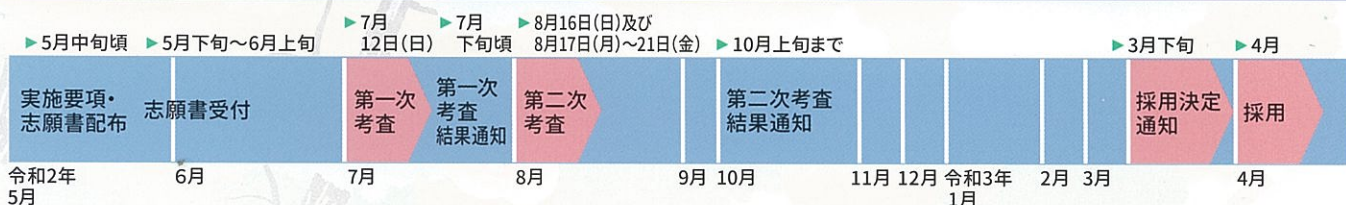
- 併願制度の導入**
 - ・中学校教諭等受考者は、小学校教諭等を併願可
 - ・高等学校教諭等受考者は、特別支援学校(学級)教諭等を併願可
- 免除制度の拡大**
 - ・他県等現職者(熊本市を除く)は、条件を満たせば第一次考査全部免除
※高等学校教諭等受考者は除く
 - ・元本県教諭等(現職教諭等を除く)は、条件を満たせば第一次考査全部免除
- 加点要件の拡大**
 - ・特別支援学校教諭免許状所持者は、第一次考査で加点

※なお、詳細については令和2年5月上旬頃から配布予定の実施要項で確認してください。
また、熊本県教育委員会のホームページ(<http://kyouiku.higo.ed.jp/page2032/senkou/>)に随時、掲載します。

採用選考考査の日程について

下記の日程は予定です。決まり次第、熊本県教育委員会のホームページに掲載します。なお、詳細については令和2年5月上旬頃から配布予定の実施要項で確認してください。

選考考査スケジュール



実施要項・志願書の入手方法及び志願手続きについて

実施要項・志願書は、直接取りに来られるか、郵送にて請求してください。
また、実施要項については、熊本県教育委員会のホームページにも掲載します。

直接取りに来られる場合、下記の場所にて配布します。

- 熊本県教育庁教育総務局学校人事課 (熊本県庁行政棟新館7階)
- 熊本市教育委員会 (熊本市中央区手取本町1番1号)
- 熊本県東京事務所 (東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館10階)
- 熊本県大阪事務所 (大阪市北区梅田1-1-3-2100大阪駅前第3ビル21階)
- 熊本県福岡事務所 (福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡11階)
- 山鹿市教育委員会 (山鹿市)
- 玉名教育事務所 (玉名市)
- 宇城教育事務所 (宇城市)
- 菊池教育事務所 (菊池市)
- 阿蘇教育事務所 (阿蘇市)
- 上益城教育事務所 (御船町)
- 八代教育事務所 (八代市)
- 芦北教育事務所 (芦北町)
- 球磨教育事務所 (人吉市)
- 天草教育事務所 (天草市)
- くまもと県民交流館パレア (熊本市中央区手取本町8番9号テトリアくまもと)
- 熊本県立図書館 (熊本市中央区出水2丁目5番1号)

郵送で請求される場合

封筒の表に「志願書等請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号封筒に住所、氏名を明記の上、210円切手を貼ったもの)を同封し、熊本県教育庁教育総務局学校人事課宛て(〒862-8609熊本市中央区水前寺6丁目18番1号)に請求してください。

ホームページから手続きされる場合

志願手続きは、志願書を学校人事課に直接持参または郵送する他、電子申請でも行うことができます。電子申請についての詳細は、熊本県のホームページをご覧ください。

◆熊本県ホームページ
<https://www.pref.kumamoto.jp/>

暮らしやすい熊本で教員に

「熊本は暮らしやすい」と言われても、ピンとこないかもしれません。そこで具体的に、その暮らしやすさを数値で紹介いたします。

全国物価地域差指数(総合)

熊本県	95.7
東京都	108.5
愛知県	99.6
大阪府	102.0
福岡県	98.6

※全国物価地域差指数 2007年 全国平均を基準 (=100)
もっとも差のある東京都に比べると約1割近く物価が安い熊本県。消費税が8%から10%に上がっただけでも財布に負担を感じるご時世に、この差は大きいですよ!

住宅地平均価格

熊本県	27,800円/㎡
東京都	323,800円/㎡
愛知県	97,900円/㎡
大阪府	146,900円/㎡
福岡県	44,600円/㎡

※都道府県地価調査(国土交通省) H27.7.1
東京都の住宅地平均価格は、なんと熊本の11倍以上! 同都県の所得差が約2倍余りといわれていますから、都市部での住宅購入のハードルの高さは想像以上ですね。

合計特殊出生率

熊本県	1.64人
東京都	1.15人
愛知県	1.46人
大阪府	1.31人
福岡県	1.46人

※人口動態調査(厚生労働省)H26
「出産しても安心して子育てができる、働ける」というサポートや支えがあるからこそ、高い出生率が維持できます。働く女性や共働き家庭に“やさしい”のも熊本の魅力です。

教員募集について

昨年度(令和2年)採用選考考査を実施した校種・教科・科目等について

- ◆昨年度採用選考考査を実施した校種・教科・科目及び受考者数・合格者数は右表のとおりです。
- ◆今年度実施される教員採用選考考査の採用予定教科等については、令和2年5月上旬頃から配布予定の実施要項をご覧ください。

	小学校	小・中学校		中学校									特別支援学校(学級) 専願	養護教諭	栄養教諭
		A 英語分	B 英語分	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭			
受考者数	312	8	38	26	68	31	35	43	4	94	5	5	229	117	24
合格者数	168	6	13	9	8	10	9	7	1	9	1	1	33	23	3

	高等学校																								
	国語	地理	政経	数学	物理	化学	生物	英語	保健体育	保健体育(スポーツ特別選考)	音楽	美術	書道	家庭	園芸	畜産	食品製造	機械	電気電子	建築	工業土木	商業	水産製造	情報	福祉
受考者数	35	16	25	60	12	25	20	33	72	6	11	10	18	14	14	6	10	15	11	9	5	12	1	12	2
合格者数	3	1	1	2	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1

受考資格として必要な免許状について

- ◆受考校種及び教科・科目の普通免許状を取得(見込)していることが必要です。
- ◆特別支援学校(学級)教諭等(専願)は、特別支援教育の専門性のある教諭を採用するために設けています。特別支援学校・盲学校・聾学校・養護学校教諭のいずれかの普通免許状と小学校・中学校・高等学校教諭のいずれかの普通免許状の取得(見込)が必要です。

障がいのある方への受考上の配慮等について

障がいのある方については、点字や拡大文字、手話等による対応を行うなど、障がいの種類や程度により、試験内容・方法について配慮もしくは免除等を行っています。また、「障がいのある者を対象とした特別選考」の採用枠も設けています。詳細は、令和2年5月上旬頃から配布予定の実施要項をご覧ください。

初任給について

新卒者の場合、下表のようになります。
(既卒者については職歴などで異なります。)

※令和2年4月1日現在の額です。このほか勤務状況等により諸手当が支給されます。

学歴区分	初任給			合計	
	給料月額	教職調整額	義務教育等教員特別手当		
大学院 修士課程終了	232,500円	9,300円	3,000円	244,800円	
大学卒	210,800円	8,432円	2,600円	221,832円	
短大卒	県立学校	185,700円	7,428円	2,200円	195,328円
	小中学校	188,600円	7,544円	2,300円	198,444円

研修について ~充実した研修で教職員の学びを支えます~

「学び続ける教職員をサポートする」これが熊本県の教職員研修の最も大きな特色です。初任校における初任者の重点的かつきめ細かな育成を目的とした「初任者研修」、「2年目研修」、「3年目研修」で実践的指導力の基礎を身に付けます。また、「5年経験者研修」、「中堅教諭等資質向上研修」で専門的な知識や技能を習得していきます。さらに、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」「外国語教育」「道徳教育」「特別支援教育」「プログラミング教育」「ICTの活用」など様々な教育課題に確実に対応するため、研修はもちろんのこと、各学校等のニーズに合わせたスクールサポート事業(各学校等の依頼に応じた研修)及び先生方がいつでもどこでも学べるオンライン研修の充実を図っています。これらの研修は、あなたの教職生活全体を通じた学びを支援します。

保育所収容定員比率

熊本県	38.2%
東京都	34.3%
愛知県	26.7%
大阪府	17.8%
福岡県	20.5%

※福祉行政報告例 2010 年、住民基本台帳 2010 年

「保育所収容定員」は、保育所に入れる子供の数を表し、比率が高いほど子育て支援施設が充実していることが分かります。「子育てのしやすさで選ぶなら熊本!」ですね。

千人当たり自然公園面積

熊本県	86.1ha
東京都	6.0ha
愛知県	11.9ha
大阪府	2.3ha
福岡県	17.3ha

※環境統計集(環境省)H26.3.31

豊かな自然を「憩いの場」として活用できるのも、森と緑に恵まれた熊本ならではの、週末や休日に、自然公園でゆったりとした時間を過ごせば、心のリフレッシュにも!

上水道への地下水使用割合

熊本県	81.0%
東京都	8.9%
愛知県	14.7%
大阪府	6.0%
福岡県	13.7%

※水道統計(社)日本水道協会)H24年度

阿蘇外輪山で育まれた伏流水の恩恵で、熊本市ではほぼ100%、県でも8割以上の水道水が地下水で賄われています。人々の生活に欠かせない「水」の豊かさは、お金では買えない財産です。

十万人当たり病院の病床数

熊本県	1,957.3床
東京都	963.6床
愛知県	909.8床
大阪府	1,224.9床
福岡県	1,707.2床

※医療施設調査(厚生労働省)H25.10.1

普段、健康に過ごしていると気付かない「病院のありがたみ」。病床数の充実している熊本県なら、いざという時にも慌てることなく、「近くの病院」を見つけられますね。

皆さんのことを、子供たちは、待っています!

子供の笑顔が大好き!

子供たちの夢の実現に向けた力になりたい!

地域とのつながりが深く、やりがいがある!

県内の地域はあたたかく働きやすい!

熊本県は、教職員のサポートが充実!

くまもと県の先生になろう!



熊本の目指す教育 ～「夢を叶える教育」の推進～

熊本県教育委員会では、郷土熊本の素晴らしい自然、伝統、文化を基盤として、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、確かな学力、豊かな心、健やかな体などの「生きる力」、何よりも命を大切にす心、グローバル社会に対応する資質や能力、夢に挑戦する姿勢の育成を目指し、「郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり」を基本理念に掲げています。

学校教育

教職員に求められる基本的資質と専門性を高め、熊本の未来の創り手である子供たちに必要な資質・能力を育む指導体制の確立を図ります。また、「熊本の学び推進プラン」をもとに、子供、学校、家庭、地域、行政の5者が一体となって取り組み、「チーム熊本」ですべての子供たちが「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します。さらには、平成28年熊本地震により被災した児童生徒の心と学力への影響を最小化するための支援の充実を図るとともに、次代につながる創造的復興に向けた取組を促進します。

人権教育

同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決し、人が人として互いに尊重される社会となるため、教育の根幹に人権教育を据え、幼児児童生徒にしっかりと寄り添い、一人一人を大切に教育を推進します。また、家庭や地域において、人権教育に対する保護者等の理解を促進するとともに、家庭や地域等の身近な人々や関係機関等との連携を通して、人権尊重の意識が一層広まるよう取り組みます。

熊本県は教育のための健全な環境づくりを推進しています

社会教育の振興

子供も大人も学び合い、育ち合う教育体制の構築に向けて、「くまもと家庭教育支援条例」にもとづき、家庭教育支援の充実にもとづき、地域と学校が連携・協働して、地域全体で子供の成長を支えていく「地域学校協働活動」を推進しています。さらに、すべての県民が、生涯にわたって自ら学び、その成果を活用できるよう、生涯学習振興の基盤強化と関係機関相互の連携を図っています。

文化の振興

郷土「くまもと」の伝統、文化に学び、守り、伝える活動を行うことや、高い志を持った先人の生き方を学ぶことで、子供たちの郷土への愛情と誇りを養うことを目指します。特に児童生徒が、学校で文化財について学び、伝統芸能、美術、音楽などの優れた芸術文化に直接触れる機会を通して、我が国や郷土を愛する心を持つグローバル人材を育成することに努めています。

体育・スポーツの振興

県民すべてが、「する・みる・支える・知る」スポーツを通して、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、「スポーツによる人が輝く豊かなくまもつくり」を目指しています。特に、学校における体育・保健体育の授業の充実と本県の指針に基づいた適正な運動部活動(中・高)の推進に努めています。

くまもとの教職員像 ～「認め、ほめ、励まし、伸ばす」くまもとの教職員～

熊本県教育委員会は、次のような基本的資質と専門性を持った教職員の育成を目指しています。

教職員としての基本的資質

● 教育的愛情と人権感覚

自らの言動が児童生徒の人格形成に大きな影響を与えることを自覚し、豊かな人権感覚を持って、一人一人に温かく、また公平に接する教職員

● 使命感と向上心

教職員としての使命感と情熱を持ち続け、時代の変化から生じる新しい課題にも積極的に対応するため、常に新しい知識を求め、実践に生かす教職員

● 組織の一員としての自覚

互いに情報を共有し、協力し合って組織的に課題に対応する教職員

教職員としての専門性

● 児童生徒理解と豊かな心

児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つけ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む教職員

● 学習の実践的指導力

基礎・基本を習得させるための徹底した指導と児童生徒が自ら学び考える力を身に付ける学習を着実に展開し、確かな学力を育む教職員

● 保護者・地域住民との連携

保護者・地域住民の大きな期待があることを自覚し、保護者や地域住民と情報を共有し、またそのニーズの把握に努め、互いの信頼関係の中で課題解決に当たる教職員

熊本県教育庁教育総務局学校人事課

〒862-8609

熊本市中心区水前寺6丁目18番1号

県庁行政棟新館7階

小中学校人事班 TEL.096-333-2695

県立学校人事班 TEL.096-333-2694



©2010 熊本県くまモン

これは、本県教職員等の記事であり、2本の寄り添うようなラインは人の文字を表し、人と人の支え合っている様子を表現しています。右の金色のラインは、教職員の情熱や誇りを表したものです。記事を着用しその身分を明確にし、地域住民や生徒、保護者の厚い信頼を得るため、高い倫理観を持って職務に従事し、教職員等相互の協調を図っています。

